

J Aバンクあいちにおける地域密着型金融の取組状況（平成29年度）

J Aバンクあいち（愛知県下 20 J Aと愛知県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

平成29年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援

（J Aバンクあいちの農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンクあいちでは、地域における農業の担い手との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1） 農業融資商品の適切な提供

J Aバンクあいちでは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業の担い手の農業経営と生活をサポートしています。

平成30年3月末時点のJ Aバンクあいちの農業関係資金^{(注)1}残高は51,183百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{(注)2}残高は35,966百万円を取り扱っています。

(注) 1 農業関係資金とは、農業の担い手および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

2 J Aバンクあいちが農業の担い手の窓口となり、日本政策金融公庫などの受託貸付金の取扱いを行っています。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】

（単位：百万円）

営農類型 \ 年月	30年3月末	29年3月末	増減
農業	35,184	34,355	829
穀作	2,778	2,554	224
野菜・園芸	11,649	10,797	852
果樹・樹園農業	1,532	1,522	10
工芸作物	266	275	△9
養豚・肉牛・酪農	6,045	6,273	△228
養鶏・鶏卵	2,098	1,791	307
養蚕	0	0	0
その他農業 ^{(注)1}	10,816	11,143	△327
農業関連団体等 ^{(注)2}	15,999	15,635	364
合計	51,183	49,990	1,193

- (注) 1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業の担い手が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)等とその子会社等が含まれています。
- 3 一部の統計数値については四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合があります。

【資金種別農業資金残高】

(単位：百万円)

種 類	年 月	30年3月末	29年3月末	増 減
プロパー資金 ^{(注)1}		30,450	29,039	1,411
農業制度資金 ^{(注)2}		20,733	20,951	△218
農業近代化資金		7,491	7,513	△22
その他制度資金 ^{(注)3}		13,243	13,438	△195
合 計		51,183	49,990	1,193

- (注) 1 プロパー資金とは、JA・信連原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクあいちが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の間接的に融資するものと②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。
- 4 一部の統計数値については四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合があります。

【農業資金の受託貸付金残高】

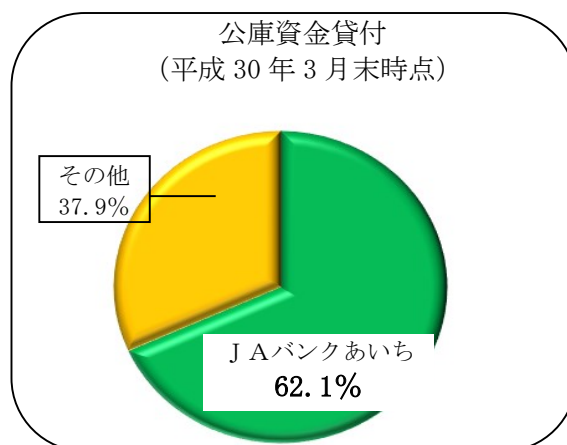
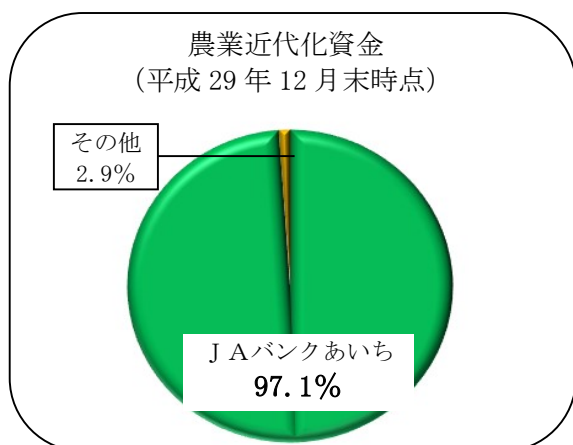
(単位：百万円)

種 類	年 月	30年3月末	29年3月末	増 減
日本政策金融公庫資金		35,966	37,910	△1,944
その他		0	0	0
合 計		35,966	37,910	△1,944

<参考：愛知県の農業近代化資金および公庫資金貸付のシェア>

JAバンクあいちは、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいて、トップシェアとなっています。

【愛知県の農業近代化資金および公庫資金貸付のシェア】



(注)その他には、日本政策金融公庫が行う貸付も含まれています。

【農業近代化資金のシェア】 (単位：%)

金融機関	年月	29年12月	28年12月	増減
J Aバンクあいち		97.1	98.9	△1.8
その他		2.9	1.1	1.8

【公庫資金貸付のシェア】 (単位：%)

金融機関	年月	30年3月	29年3月	増減
J Aバンクあいち		62.1	68.3	△6.2
その他		37.9	31.7	6.2

(2) 農業の担い手の所得向上や新規就農者の確保等に向けた支援

J A愛知信連は、J A愛知中央会、J Aあいち経済連と連携を図り、県下J Aの営農・経済事業を通じて、県下農業の意欲ある担い手の所得向上等に向けた支援を一層強化するため、

1 農業経営にかかわる金融負担軽減に資する支援

2 将来の農業の担い手（新規就農者）確保にかかわる支援

3 多様化する経営課題に応えるためのコンサルティング機能の発揮

以上の3本を柱として、県域独自企画として平成27年度から平成30年度までの4年間の支援事業を立ち上げ、J Aの総合事業性の発揮のもとで、グループ一丸となって農業所得向上等に向けた支援に取り組んでいます。

2 農業の担い手の経営ライフサイクルに応じた支援

J Aバンクあいちでは、農業の担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンクあいちでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】 (単位：件、百万円)

資金名	年度	平成29年度 実行件数	平成29年度 実行金額	平成30年3月末 残高
青年等就農資金		37	283	1,032
就農支援資金（転貸）		-	-	990
合計		37	283	2,022

(2) 新規就農者研修受入先の支援

J A愛知信連では、新規就農者研修受入先の支援を目的とし、J Aバンクアグリ・エコサポート基金のJ Aバンク新規就農応援事業と連携して、J Aバンクあいち就農研修応援事業に取り組んでいます。

【平成29年度新規就農者研修受入先の支援の取組実績】 (単位：先、千円)

新規就農者研修受入先	助成金額
42	38,570

(3) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンクあいちでは、関係機関と協議するなど、農業の担い手の経営改善・再建に向け、次のとおり取り組んでいます。

【平成 29 年度の農業の担い手の経営改善支援等の取組実績】

(単位：先)

債務者区分等	取引先数	期 初 経 営 改 善 支 援 取 組 先 A			事業計画 策定率 = a / A	ランクア ップ率 = b / A	
		Aのうち 再生計画を 策定した先 数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c			
正常先①	9	8		8	88.9%		
要 注 意 先	うち その他要注意先②	10	8	2	7	80.0%	20.0%
	うち要管理先③	5	5	1	4	100.0%	20.0%
破綻懸念先④	10	8	0	9	80.0%	0.0%	
実質破綻先⑤	48	9	0	46	18.8%	0.0%	
破綻先⑥	2	0	0	2	0.0%	0.0%	
	小計(②～⑥計)	75	30	3	68	40.0%	4.0%
	合 計	84	38	3	76	45.2%	3.6%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 29 年 3 月末時点でのものです。

(4) J Aバンクあいちにおける講演会・セミナー等の開催状況

J Aバンクあいちでは、農業の担い手等の経営を支援するため、講演会・セミナー等の開催および開催実施に向けた活動に次表のとおり取り組みました。

【平成 29 年度 講演会・セミナー開催実績】

講演会名	関係 J A 名	参加者	内 容
野菜づくり教室	J A なごや	組合員及び 利用者 2,208 名	野菜づくりについての基本的な知識 や実演・実習
農と住の調和を考える会		組合員 321 名	税制等に関する知識の普及向上、土 地活用方法の研修等
確定申告相談		組合員 1,281 名	確定申告書作成支援
相続税対策相談		組合員 292 名	相続税事前対策支援
農業者研修会	J A あいち尾東	認定農業者 17 名	講演：地域 6 次産業化の成功ポイン ト (講師：(株)キースタッフ 創業者 鳥巢研二氏)
新規就農・六次産業化 講演会	J A 尾張中央	農業者を中 心とした管 内住者 36 名	講演：調理師学校卒、介護士の私が 農業の道へ (講師：株式会社萬秀フルーツ取締 役 大崎佳子氏)
			講演：夢は世界中の人に米粉パスタ を (講師：PLUS 株式会社代表取締役 三輪忠士氏)

講演会名	関係 J A 名	参加者	内 容
田植え前後の上手な除草管理講習会	J A 西春日井	組合員 7 名	水稻除草剤の使い方
いろいろな除草剤の使い分け		組合員 22 名	畑作等での除草剤知識の向上
玉ねぎ栽培		組合員 21 名	玉ねぎの栽培方法
しめ縄作り体験教室		組合員 15 名	しめ縄の作り方
農業所得申告相談		管内希望者 153 名	確定申告書作成支援
石灰類使い分け講習会		組合員 18 名	石灰類についての特性紹介
確定申告研修会	J A あいち知多	組合員 52 名	平成 2 8 年度分確定申告書作成支援 e-tax による申告導入支援
農業通年講座		組合員 93 名	園芸体験コース・野菜専科コース 果樹専科コース
農業塾	J A 愛知北	管内希望者 100 名	農業の専門的な知識、技術の習得
はつらつ農業塾 生きがい農業コース	J A 愛知西	管内希望者 84 名	家庭菜園を楽しむ際に必要となる野菜の基礎的な栽培知識の習得 (受講期間 1 年)
はつらつ農業塾 担い手育成コース		管内希望者 5 名	野菜の基礎的な栽培知識および野菜の栽培技術の習得(受講期間 2 年)
確定申告相談会		組合員 2,616 名	税務記帳指導および確定申告書作成支援
新規就農者セミナー	J A あいち海部	新規就農者等 30 名	講演：これからの農業を考えるためのイノベーション (講師：青年農業士 小坂井敦則氏)
新規就農者セミナー		新規就農者等 16 名	講演：新規就農と農業の未来 (講師：(株)マイファーム 西辻代表取締役)
農業塾		正・准組合員 50 名	野菜作りの基本的な知識習得
農業青色申告部会 税務研修	J A あいち中央	農業青色申告部会員 18 名	講演：「元税務署職員が語る身近な税の話」 (講師：神谷秀司税理士)
農業青色申告部会 税務研修		農業青色申告部会員 17 名	講演：「平成 2 9 年度の税制改正について」 (講師：磯貝正夫税理士)
農業青色申告部会 税務研修		農業青色申告部会員 25 名	講演：「相続税の基礎から知って得する豆知識まで」 (講師：松本憲久税理士)
農業青色申告部会 税務研修		農業青色申告部会員 20 名	講演：「相続、贈与における名義財産について」 (講師：磯貝正夫税理士)

講演会名	関係 J A 名	参加者	内 容
農業青色申告部会 税務研修	J A あいち中央	農業青色申 告部会員 685 名	記帳指導～確定申告支援
青年部と営農部門若手職 員 意見交換会		青年部役員 7 名	各地区青年部役員と J A 若手営農職 員との意見交換
産直就農塾		申込者 18 名	産直出荷を目的とした栽培指導
いちじくスクール		申込者 13 名	いちじく農家の育成
相続税対策セミナー	J A 西三河	組合員 300 名	相続税改正解説とその対応策
農業塾		管内希望者 7 名	露地野菜栽培指導
農業塾 (ステップアップコー ス)		管内希望者 3 名	露地野菜栽培指導・経営指導
受付相談会(源泉徴収・ 記帳相談・年末調整)		農業青色申 告会員 393 名	税務・記帳指導等
受付相談会(確定申告・ 消費税)		農業青色申 告会員 393 名	税務・記帳指導等
農業塾	J A あいち三河	管内希望者 20 名	露地野菜栽培指導 (基礎)
第二農業塾 (ステップアップ)		管内希望者 10 名	露地野菜栽培指導・経営販売指導
いちご産地活性化プロジ ェクト		管内希望者 21 名	新規就農対策の検討 (ハウス・研修 所の建設)
経営記帳指導		管内希望者 70 名	経営記帳指導・簡易経営診断
水稲青空教室	J A あいち豊田	水稲栽培者 650 名	講演：水稲の品質向上、栽培技術向 上 (講師：農業改良普及課職員他)
麦青空教室		麦栽培者 103 名	講演：麦の品質向上、栽培技術向上 (講師：農業改良普及課職員他)
農業所得記帳指導会		申込者 43 名	講演：農業所得記帳指導及び一般税 務相談 (講師：東海税理士会豊田支部職員)
確定申告相談	J A 愛知東	管内農業者 78 名	確定申告書作成の相談

講演会名	関係 J A 名	参加者	内 容
相談教室	J A ひまわり	正組員 35 名	相続税対策・納税猶予について
新人簿記講習会	J A 蒲郡市	青色申告者 9 名	新人支援
上期源泉納付説明会		青色申告書 109 名	源泉納付支援
年末調整事前講習会		青色申告者 124 名	年末調整支援
年末調整作業説明会		青色申告書 126 名	年末調整支援
確定申告事前講習会		青色申告者 145 名	確定申告作成支援
確定申告講習会		青色申告者 177 名	確定申告作成支援
労務管理研修会		無料職業紹介事業利用者 22 名	講演：労務管理について (講師：社会保険労務士法人 亀井 労務管理事務所職員)
税務相談	J A 愛知みなみ	組員	源泉徴収・年末調整・確定申告書作成等の相談
パソコン会員決算説明会	J A 豊橋	組員 84 名	パソコンでの青色申告決算書作成時の注意点の説明

3 経営の将来性を見極める融資手法や農業の担い手に適した資金供給手法等の提供

J A バンク あいち では、農業の担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

J A バンク あいち では、農業の担い手の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 29 年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	平成 29 年度 実行件数	平成 29 年度 実行金額	平成 30 年 3 月末 残 高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	4
畜産特別資金	0	0	17
合 計	0	0	21

(注) 1 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J A などの融資機関において取り扱っています。

2 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J A などの融資機関において取り扱っています。

(2) 動産担保融資の活用

J Aバンクあいちでは、農畜産物を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

その融資実績は次表のとおりです。

【動産担保融資活用実績】

(単位：件、百万円)

種 類	平成 29 年度末	
	件数	残高
農産物	0	0
畜産物	2	35
その他	0	0
合 計	2	35

(3) 農業関連資金への利子助成等の実施による償還負担の軽減支援

県下 J A から農業関連資金を借り入れている農業の担い手の償還負担を軽減し、農業経営の安定を図ることを目的として、全国段階企画と県域独自企画の二つの利子助成事業等に次のとおり取り組みました。

ア 全国段階企画の利子助成・利子補給

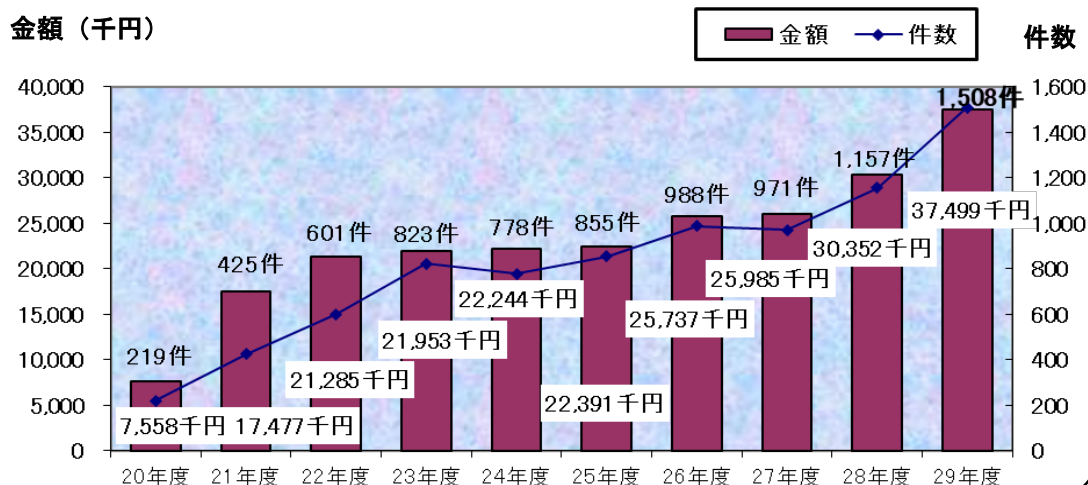
(ア) J Aバンク利子助成・J Aバンクアグリサポート利子助成事業

平成 19 年 4 月から農業の担い手に対する農機ハウスローン、担い手応援ローン、スーパー S 資金等の融資について、J Aバンクアグリ・エコサポート基金が最大年 1% の利子助成を実施し、農業の担い手をサポートしています(平成 30 年 3 月までの利子助成支払実績は、延べ 6,834 件、186,288 千円)。

(イ) J Aバンク利子補給

平成 27 年 1 月から農業の担い手に対する農業近代化資金等の融資について、農林中央金庫が最大年 1% の利子補給を実施し、農業の担い手をサポートしています(平成 30 年 3 月までの利子補給支払実績は、延べ 1,491 件、46,196 千円)。

【J Aバンクにおける利子助成実績推移(愛知県)】



(注) ・ 平成20年度～平成27年度は(ア)の利子助成件数・金額
 ・ 平成28年度以降は(ア)の利子助成件数・金額と(イ)の利子補給件数・金額の合計件数・金額

イ 県域独自企画の利子助成・利子補給・保証料助成

J A愛知信連が事業主体となり取り組んでいる利子助成事業等は、次のとおりです。

(ア) J Aバンクあいちアグリサポート利子助成事業

平成20年5月から農業の担い手に対する設備資金の融資について、最大年1.0%の利子助成を実施し、農業の担い手をサポートしています(平成30年3月までの利子助成支払実績は、延べ28,793件、310,089千円)。

(イ) J Aバンクあいち農業被害支援利子補給事業

平成21年10月から災害により被害を受けた農業の担い手に対する設備資金および復旧等に必要な運転資金の融資について、最大年0.5%の利子補給を実施し、農業の担い手をサポートしています(平成30年3月までの利子補給支払実績は、延べ290件、1,717千円)。

(ウ) J Aバンクあいち農業再生支援利子補給事業

平成22年9月から農業の担い手に対する金融円滑化対応の中で農業経営の改善・再生に必要な資金の融資について、最大年0.5%の利子補給を実施し、農業の担い手をサポートしています(平成30年3月までの利子補給支払実績は、延べ48件、640千円)。

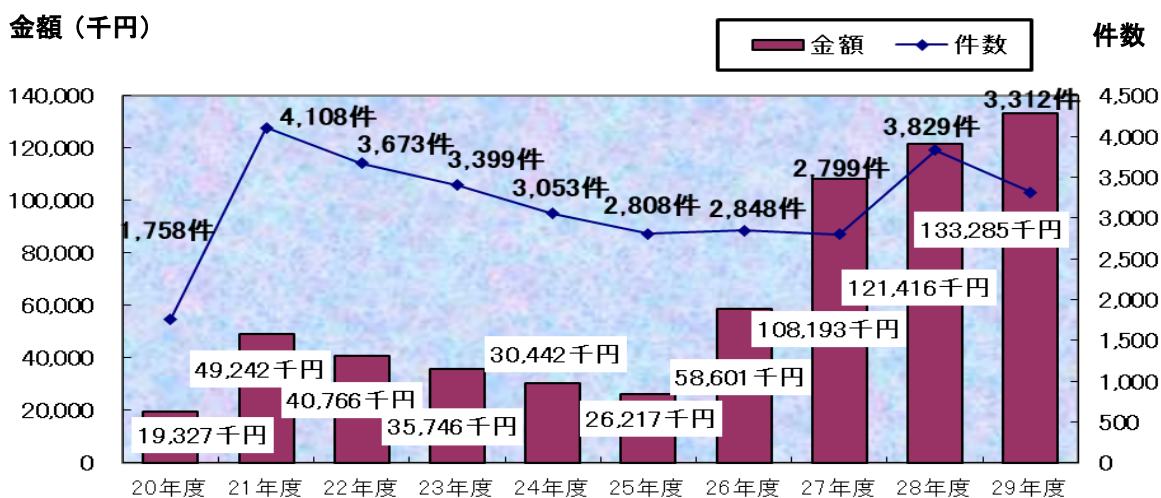
(エ) J Aバンクあいち特別利子助成事業

平成24年4月から農業の担い手に対する農業近代化資金の融資について、最大年2.0%の利子助成を実施し、農業の担い手をサポートしています(平成30年3月までの利子助成支払実績は、延べ57件、4,993千円)。

(オ) J Aバンクあいち農業資金保証料助成事業

平成26年4月から農業の担い手に対する農業資金(農業近代化資金、アグリマイティー資金、青年等就農資金等)の融資について、愛知県農業信用基金協会に支払う一括前取り保証料額と同額の助成を実施し、農業の担い手をサポートしています(平成30年3月までの保証料助成実績は、延べ2,399件、305,802千円)。

【J Aバンクあいちにおける利子助成・利子補給、保証料助成実績推移】



(注)	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度は（ア）の農業近代化資金の利子助成件数・金額 平成21年度は（ア）の農業近代化資金と農業振興資金の利子助成件数・金額の合計件数・金額 平成22年度～平成25年度は（ア）の農業近代化資金と農業振興資金の利子助成件数・金額、（イ）の利子補給件数・金額および（ウ）の利子補給件数・金額の合計件数・金額 平成26年度以降は（ア）の農業近代化資金と農業振興資金の利子助成件数・金額、（イ）の利子補給件数・金額、（ウ）の利子補給件数・金額、（エ）の利子補給件数・金額および（オ）の保証料助成件数・金額の合計件数・金額
-----	---

（４） 地域農業の発展に寄与する農業関連金融商品の開発

J Aバンクあいちでは、地域農業の発展に寄与するため、農業関連金融商品の開発に取り組みました。

【農業関連金融商品の開発】

商品名	関係 J A 名	内容
絆キャンペーン新鮮野菜プレゼント	J A なごや	定期貯金 10 万円を一口として抽選を行い、500 名に新鮮野菜を贈呈
いちご狩り特典つき定期貯金「いちご定期 2 9」	J A 豊橋	一口当たり 50 万円以上新規ご契約の個人の方を対象に、いちご圃場での収穫体験（食べ放題、お土産つき）を実施
農業応援定期積金「つみたて！愛知」	県下 J A	定期積金 50 万円を一口として積立 1 年目と 3 年目に抽選を行い、当選者に愛知県産農畜産物を贈呈

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンクあいちでは、地域社会へ貢献するため、食農教育応援事業に取り組みました。

（１） 農業に関する教材本の配付

J Aバンクあいちでは、地域の小学生等の農業に対する理解を促進する食農教育応援事業の一環として、教材本「農業とわたしたちの暮らし」の配付に取り組んでいます。

なお、平成 29 年度については、教材本「農業とわたしたちの暮らし[小学校高学年]」を愛知県下小学校 975 校へ 83,650 セット、「農業とわたしたちの暮らし[特別支援教育版]」を愛知県下小学校および特別支援学校 46 校へ 593 セット、県下 J A を通じて配付し、学校の授業等において活用していただいています。

（２） 食農教育の実践活動

県下 J A では、食農教育応援事業の一環として、食農教育の実践活動に次表のとおり取り組みました。

【食農教育の実践活動】

J A 名	活動名	活動内容
J A 西春日井	農業体験学習・教育	田植え作業から稲刈り（収穫）作業までの米作り体験、管内特産物であるイチジクの圃場や農作業の見学
J A あいち知多	J A まるごと親子体験	管内の子供たちに地元農産物の豊かさや農業の楽しさを伝える親子参加型の食農教育を実施
	バケツ稲セットの配布	支店窓口において「バケツ稲セット（種もみ、マニュアル）」を学校関係者等に配布
J A 愛知北	農業体験学習	営農指導員による、田植え・稲刈り体験、大根まき体験、ねぎ堀り体験、講習会
J A 愛知西	親子農業体験	田植え体験、収穫体験、料理教室等
J A 海部東	親子米作り・野菜作り体験 子どものうぎょうきょうどうくみあい	田植え・稲刈り体験、野菜作り体験
J A あいち中央	バケツ稲	バケツ稲での米作り体験
	こども農業体験スクール“あおみっ子”	農業体験（田植え、稲刈り、しめ縄作り等）
J A 西三河	稲づくり体験	地域農業者等の協力による、小学校5年生を対象とした稲づくり体験
J A あいち豊田	J A あいち豊田キッズ・サマースクール2017	地元農産物の紹介や買い物体験、テレビ等でおなじみのタレントによる食の大切さを学ぶ講演等の「食育」イベント
J A 愛知東	こども農学校	管内の小学校3～6年生を対象に農業体験、収穫物の販売体験を実施
J A ひまわり	わい！わい！農園	管内在住の小学生とその保護者を対象に農業体験を実施
	わい！わい！花育教室	管内在住の親子を対象としたアレンジフラワー体験を実施
J A 蒲郡市	サツマイモ収穫体験	市内の幼稚園児とその父母を対象に、遊休圃場を活用してJ A が栽培したサツマイモの収穫体験を実施

以上